



つながり

T527-8505

滋賀県東近江市五智町255

<http://www.hosp.go.jp/~snh/>

電話 0748(22)3030

FAX 0748(23)3383

Vol. No1

発行日 2011/01/20

編集: 情報サービス委員会 広報誌部会

新春を迎え!

明けましておめでとうございます。私が院長に就任して早いもので3回目のお正月を迎えました。1年前のお正月より元気で夢がある1年のスタートです。この間、東近江地域医療再生計画が関係者の皆さまのご協力、ご尽力によって着々と進行し、平成25年4月には320床の急性期医療・二次救急を担う中核病院として(仮称)東近江総合医療センターが設立される運びとなりました。皆さまに感謝を申し上げます。今後の計画では、平成22年6月18日調印の滋賀県、東近江市、滋賀医科大学、国立病院機構の四者による「寄附講座の設置に関する協定」により、滋賀医科大学から内科系9名、外科系5名の医師が派遣され、臨床研修も当院で行われる計画です。

また、本年春から婦人科外来を開設し、産婦人科外来・入院へと展開させていきます。現在休棟中の病棟についても順次再開させる予定です。当然ながら、現在非常勤医師対応の各科の常勤医師補充も徐々に行われる予定になっています。既に昨年10月からは麻酔科、糖尿病・内分泌内科、救急担当医の常勤医も赴任してきており、戦力アップしています。この(仮称)東近江総合医療センターは単に地域の中核病院の機能を果たすだけでなく、当院で勤務する職員にも魅力的な職場にしなければいけないと考えております。

また、当院を中核病院として発展させていく為には、東近江医師会との関わりも大変重要であると認識しています。東近江市には日本の最先端と言いき素晴らしい「三方よし研究会」が確立されています。その輪は医療を取り巻くいろいろな職種が協力し知恵を出し病病連携、病診連携、在宅医療等の支えを理想的な形で実現しています。この「三方よし研究会」のパワーを活かして滋賀県5大がん地域連携クリニカルパスの導入やITネットワーク導入、休日急患診療所を含む地域医療センターの設立、遠隔画像診断・遠隔病理診断の導入等一進めなければならない事業がたくさんあります。これらの事業が行政主導の縦向きの検討・決定に終始せず、有機的・横断的につながっていかねばならないと考えており、事業の実現には、これからも皆様のご助言・ご指導等が必要となりますので今後とも宜しくお願い申し上げます。なお、(仮称)東近江総合医療センター設立には多くの看護師・助産師を必要としていますのでご紹介も宜しくお願い申し上げます。

院長 井上 修平



謹賀新年



内科



当院内科医長 前野恭宏です。内科一般の診療を行っていますが、平成22年4月にこちらに赴任してから、特に糖尿病内分泌疾患を中心に診療させて頂いています。糖尿病治療はその性質上、病診連携が特に必要とされます。その期待に答えるべくこれまで、教育入院パスの整備、糖尿病教室の開設、病診連携栄養指導システムの整備を行ってきました。今後も近隣の診療所の先生方との連携のさらなる充実をはかり、市民の皆様が安心してこの地で糖尿病の療養を受けていけるよう、できる限りのサポートをさせて頂く所存です。

神経内科



診療内容：脳血管障害、神経変性疾患（パーキンソン病・筋萎縮性側索硬化症など）、認知症、脱髄疾患（多発性硬化症など）、末梢神経障害、筋疾患（重症筋無力症・筋炎など）、ボトックス治療（眼瞼痙攣・片側顔面痙攣・癱性斜頸）、その他（頭痛・てんかんなど）

神経疾患を幅広く診療していますが、心療内科・精神科領域の疾患は専門外です。麻痺やしびれ、頭痛、記憶力障害などの症状で未検査・未治療の方がいらっしゃればご紹介下さい。CT・MRI・MRA・脳血流シンチグラフィ・脳波・神経伝導検査・筋電図・各種誘発電位・神経生検・筋生検が可能で、必要な場合には各種遺伝子検査を他医療機関と連携して実施しています（脊髄小脳変性症・ハンチントン病・ミトコンドリア病・筋ジストロフィー・遺伝性末梢神経障害など）。

消化器内科



消化器科では救急疾患（消化管出血、閉塞性黄疸、急性肝障害、急性膵炎、急性胆嚢炎など）や慢性疾患（慢性肝炎、消化性潰瘍、慢性膵炎、炎症性腸疾患など）の診療を並行しておこなっています。特に内視鏡的治療が必要な急性期病態については昼夜を問わずできる限り対応し、外科的処置が必要な場合は消化器チームとして緊急手術で対応しております。

また、滋賀医科大学光学診療部と提携して、早期胃癌の内視鏡治療も積極的におこなっており、各診療所からのご依頼にも最大限対応させていただきます。

消化器チームは患者さんの負担の少ない治療を第一に考え、個々の症例に最も適した診療を心がけていますので、安心しておまかせください。

小児科



午前は小児一般外来を、午後からは、アレルギー外来、てんかん外来と小児神経外来を行っています。又、日本てんかん学会認定研修施設となっています。アレルギー外来では気管支喘息、アトピー性皮膚炎と食物アレルギーを、てんかん外来ではてんかんを、小児神経外来では広汎性発達障害の薬物療法等を対象として診療を行っています。少人数体制であり、地域医療圏の中での役割は、専門性を重視した外来診療と軽症入院への対応になると考えています。

外科



3人の常勤医師で外科疾患、消化器疾患についての外来診療および入院治療を担当しており、3名の非常勤医師が乳腺疾患の診察や消化管内視鏡検査を担当する。対象疾患は食道をはじめ胃、結腸、直腸などの消化管や肝胆膵領域の悪性腫瘍のほか、炎症性腸疾患、胆石症やヘルニア、虫垂炎といった良性疾患など多岐にわたる。手術不能な進行癌症例についても最新のレジメンを用いた化学療法やエビデンスに基づく緩和治療を行っています。

呼吸器外科



呼吸器外科は2000年12月に本院が国立八日市病院から国立滋賀病院に改組されたのと同時に新設されました。当科では肺癌、臍胸、縦隔腫瘍、気胸等の外科的疾患だけでなく、結核をはじめとした抗酸菌症等の呼吸器感染症など幅広く呼吸器疾患を対象としており、病院の中核的診療科としての重責を担っています。近年は胸水貯留例に対する局所麻酔下胸腔鏡検査を積極的に行い、年間の施行件数は全国的にもトップクラスとなっています。地域医療再生計画が進む東近江医療圏において今後も呼吸器の専門科として地域に貢献したいと考えております。

歯科口腔外科



本院の歯科口腔外科では、インプラント治療や顎関節症、顎顔面領域の顎骨骨折、嚢胞、腫瘍など外科的疾患を中心に診療し、外来通院下での処置から入院全身麻酔下での処置まで幅広く対応しております。現在の歯科界の流れとしては、歯牙欠損に対するインプラント治療が急速に普及しつつあります。当科としましても、滋賀医科大学歯科口腔外科と協力し、湖東地域へのインプラント治療の普及に少しでもお役に立てるように、患者様に満足していただける医療を提供できるよう努力していきたいと考えております。

麻酔科



本院麻酔科は長らく常勤医が不在でしたが、昨年10月より常勤麻酔科医が赴任し、緊急手術にも対応できるようになりました。麻酔科の仕事の中心は手術中の患者様の全身管理を安全に行うことです。現在はより安全に行うための体制の整備に取り組んでいます。と同時に術前・術後を含めた周術期の患者様の快適性を向上させるための工夫も検討中です。当院で手術すると楽で本当に良かったと思ってもらえることが当面の目標です。

リハビリテーション科



リハビリテーション科のスタッフは、医長1名、理学療法士1名、助手1名です。主に呼吸器リハビリ、脳血管障害リハビリ、運動器リハビリ、物理療法、及び糖尿病教室での運動指導を行っています。

今後も急性期のみならず、様々な疾患の患者さんのニーズに応え、QOLの向上を目指してよりよい医療環境を提供していきたいと思っております。



放射線科



放射線科スタッフは、医師1名、非常勤医師4名、診療放射線技師5名、受付事務員1名の計11名で、診断部門と治療部門から成り立っております。診断部門では、一般撮影をはじめ乳房撮影、各種の透視造影検査、CT・MR・RI・Angio検査などを行っています。また、それらの検査結果を迅速に患者さんに提供できるよう専門医が対応しています。治療部門は、放射線治療装置（リニアック）を用いて、全身の悪性腫瘍やケロイドの治療を行っています。根治照射から痛みの疼痛緩和の治療まで、患者さんの目的に応じた放射線治療を目指しています。

研究検査科



研究検査科スタッフは医師1名、臨床検査技師8名で業務の管理運営をおこなっています。主に生化学検査、血液検査、一般検査、生理機能検査、病理検査、微生物検査等の各種検査を実施しています。他部門との連携においてはICTやNST、クリティカルパス、糖尿病教室、治験等に参画しています。私たち研究検査科のスタッフは、検査結果は『正確かつ迅速』が使命と考え、検査データの精度維持・向上に努めると共に、『患者さんの立場で考え行動する』を心がけ日夜業務に臨んでいます。

栄養管理室



栄養管理室のスタッフは管理栄養士2名、調理師3名、事務職員1名、委託職員10名です。調理職員と共に聞き取り調査などを行い、患者様の日線にたった栄養管理を目標に、おいしく、心のこもった手作り料理や行事食の提供ができるようチームワークで取り組んでいます。また、栄養サポートチーム（NST）活動を週に1回行い栄養管理の充実を図っています。栄養指導にも力を入れ、平成22年7月より患者さまが食事療法を続けられるよう個人指導に加え集団指導『糖尿病教室』も始めました。

地域医療連携室



地域医療連携室は医師（併任）、看護師、ソーシャルワーカー、事務職員で構成されています。主な活動として、毎年夏に医師会主催の臨床談話会を開催、地域連携クリティカルパスの管理・運営を行う「三方よし研究会」に出席するなど地域の医療機関との連携に努めています。

平成22年3月より常勤のソーシャルワーカーを迎え、患者様からの医療福祉相談についても積極的に活動しています。

また、平成22年度よりスタートし、実施医療機関になっている「東近江地域重症難病患者受入事業」のレスパイト相談、入院調整業務も開始しています。

看護課



＜看護課理念＞

よい看護 やさしい看護 こころ癒す

看護

＜看護方針＞

1. 専門職業人としての科学性・倫理性・創造性に基づく看護技術を提供します。
2. 患者さまに寄り添うことができる感性を磨き、看護実践します。
3. 患者さまやご家族の目線にたった満足と安心の得られる看護を提供します。

＜第2病棟＞

第2病棟は、神経内科・外科・内科・小児科・消化器科・眼科・歯科口腔外科の混合病棟です。複数の診療科で、緊急入院も多いですが、看護師が協力し合い、常に患者さんを中心に考えた看護をめざしています。

＜第4病棟＞

第4病棟は、呼吸器科（結核を含む）の病棟です。肺結核症は入院期間の短縮に伴い、結核クリティカルパスを作成し、保健師との連携を密にして治療や生活についての指導を計画的に実施しています。一般病床では非結核性抗酸菌症の患者や慢性疾患患者に対して在宅への支援がより充実できるよう、地域連携室の看護師と退院支援計画を立案・実施しています。

＜東2病棟・RR＞

東2病棟は呼吸器外科と消化器外科の一般病床46床に加え、周手術期看護及び重症患者を受け入れるリカバリールーム4床を併設しています。看護師自身が『自分の家族を入院させたい』と思えるような看護が提供できることをめざしています。

＜手術室＞

手術室は、バイオクリーンルーム1室、陽圧・陰圧の調整可能な部屋1室を含む4室あり、主に呼吸器外科、外科、歯科・口腔外科、眼科、泌尿器科などの手術を行っています。

手術室看護師は、執刀医や麻酔科医師と共に専門的な知識・技術を習熟したチームの一員として患者さんの安全を守ることを第一に心がけています。

＜外来＞

当院は18診療科を標榜し、急性期を中心とした呼吸器疾患（結核を含む）がん、神経難病等に関する専門的医療を行うと共に病診連携・病病連携を推進し地域に根ざした医療・看護を行っています。

外来看護として、速やかに患者さんのニーズを見出し対応できるよう患者サービスに心がけています。



薬剤科



薬剤科のスタッフは、薬剤科長1名、主任薬剤師1名、薬剤師3名の計5名です。薬剤科の業務は、調剤、製剤（院内製剤・無菌製剤：抗がん剤およびTPNの無菌調製）、薬剤情報提供、入院患者様への服薬指導、糖尿病教室、病棟での薬剤管理、受託研究など多岐にわたっています。人数は少ないですが、クオリティを安全に効果的に使ってもらうことが私たちの使命と考え、創意工夫しながら業務に取り組んでいます。

外来担当医表(平成23年1月1日) ※赤字は変更部分

曜日	月	火	水	木	金	備考
診療科						
内科1診 (神経内科)	前田 憲吾	小川 暢弘	前田 憲吾	小川 暢弘	前田 憲吾	●3診-初診 ●月曜2診の診療受付時間 8:30~11:00 ●健康診断 一般(3診) 月・水・木・金(13:30~15:00) 中国医科 月・水・木・金(13:30~15:00) 産婦健診 月・水・木・金(13:30~15:00) ●予防接種 月・水・木・金(13:30~15:00) ●心エコー(月~金、検査科) ※上記()内は診療時間です ※健康診断・予防接種は予約制です
内科2診 (循環器科)	只野 雄飛	地藤 優子	—	地藤 優子	地藤 優子	
内科3診 (内分泌・糖尿病)	前野 恭宏	三ツ瀧 健一	前野 恭宏	前田 憲吾	前野 恭宏	
内科4診 (呼吸器科)	—	—	—	龍神 慶	—	
消化器科	川口 晃	長谷川 正人	村上 耕一郎	五月女 隆男	川口 晃	●月・火・水・金は外科と兼任(場所外科1診) ●木の診療場所は外科の向い側の診療室です
小児科	田中 政幸	田中 政幸	田中 政幸	田中 政幸	田中 政幸	
午後診 (2診)	赤堀 史絵	—	—	—	太田 依子	当日の16.00までに電話予約(完全予約制) ※一般・アレルギー
午後診 (専門)	田中 政幸	田中 政幸	田中 政幸	田中 政幸	田中 政幸	てんかん・嚔嚕・発達・発達障害 予防接種 15:00~16:00 (完全予約制)
外科1診	川口 晃	長谷川 正人	村上 耕一郎	長谷川 正人	川口 晃	●胃カメラ(月・木・金、午前) ●大腸ファイバー(月・木・金、午後) ●人工肛門(第1・3火、午後)
乳腺外来	—	—	—	河合 由紀	—	※診療時間 14:30~(完全予約制) ※初めての方は電話予約して下さい (予約受付時間 13:00~15:00)
整形外科	森 幹士	—	森 幹士	—	—	当院では手術・入院治療は行っていないため、他の医療機関を紹介させて頂く場合があります。
脳神経外	—	井上 卓郎	—	—	平井 久雄	当院では手術・入院治療は行っていないため、他の医療機関を紹介させて頂く場合があります。
呼吸器外科1	井上 修平	手術日	井上 修平	手術日	井上 修平	●気管支鏡(月・水・木・金 午後)
呼吸器外科2	藤田 琢也	大塩 恭彦	尾崎 良智	大塩 恭彦	大内 政嗣	
泌尿器科	—	吉田 哲也	—	富田 圭司	—	当院では手術・入院治療は行っていないため、他の医療機関を紹介させて頂く場合があります。 ※水曜日のみ、受付は11時まで
眼科	—	高川 正人 山下 智弘	向所 真哉	山下 智弘	—	※火曜日以外は高川医師・山下医師が交代で行います。 ※受付は11時までです。
耳鼻いんこう科	越知 康子	—	—	板東 秀樹	—	当院では手術・入院治療は行っていないため、他の医療機関を紹介させて頂く場合があります。 ※受付は11時まで ●頸部超音波検査(木、11:30~12:00)
放射線科	居出 健司	居出 健司	居出 健司	居出 健司	居出 健司	●放射線治療(月~金、午前・午後) ●胃透視・法腸検査(木) ●乳腺超音波(火) ●尺1・運動負荷(月・木) ●血管造影(火、午前・午後)
歯科 口腔外科	堤 泰彦	堤 泰彦	斎藤 翔太	堤 泰彦 齋藤 翔太	堤 泰彦	

(初診) 午前8時30分~午前11時30分
(再診受付機) 午前6時30分~午前11時30分
(ただし、上表の備考欄に記載の診療科を除く)

編集後記

あけましておめでとうございます。国立滋賀病院と名称変更し、早10年が経ちました。今まで、国立病院は情報発信が少ないと言われてまいりましたが、10年の節目を迎え、これを機に広報誌を発行することとなりました。各季節毎の年4回程度の発行を予定しています。旬なニュースと、役に立つ情報を発信してまいりたいと思っております。初回として、現在の診療科とパラメディカル、コメディカル、を簡単に紹介しますが、春からは新しいスタッフも増える予定ですので、随時紹介してまいります。本年も宜しくお願い申し上げます。

広報誌部会 長谷川